

Technical Journal of Advanced Mobility

査読要領 目次

2020年7月1日

1. 査読の目的
2. 査読手続き
3. 査読員
4. 査読の方法
5. 連絡先

Technical Journal of Advanced Mobility 査読要項

2020年5月1日制定

Technical Journal of Advanced Mobility 編集委員会

1. 査読の目的

投稿原稿の内容を客観的に評価し、Technical Journal of Advanced Mobility（以下、テクニカルジャーナルという）に掲載される原稿としてふさわしいものであるかどうかを判定するための資料を提供することを目的として査読が行われる。Technical Journal of Advanced Mobility 編集委員会（以下、編集委員会という）は、査読に伴って見出された問題点や不明な事項について、著者に修正を求めることがある。ただし、原稿の内容に対する責任は本来著者が負うべきものであり、その価値は一般読者が判断すべきものである。

2. 査読手続き

- 1) 投稿原稿に対し、編集委員会は査読を行って掲載の可否を決定する。査読にあたって編集委員会は著者に対して問合せ、または内容の修正を求めることがあり、原則1回までとする。
- 2) 原稿に関する照会、または修正依頼をしてから2カ月以内に著者から回答がない場合には、編集委員会は査読を打ち切る。

3. 査読員

査読は編集委員会の指名した査読員が行う。原則として論文、報告、総説については2名の査読員を選定する。

4. 査読の方法

査読は、投稿原稿がその分野においていかなる位置づけにあるか、新しい観点からなされた内容を含んでいるか、研究・技術成果の貢献度が大きいのか、等の点について以下の項目に照らして客観的に評価する

- (1) 新規性：内容が公知、既発表または既知のことから容易には導き得るものでないこと
 - ア 研究の主題、内容、手法に独創性があり、現象の解明に大きく貢献している
 - イ 産業界、社会に重要な問題を提起している
 - ウ 技術者の教育・人材の育成に新たな貢献をしている
 - エ 創意工夫に満ちた貴重な技術的検討、経験が提示されている
 - オ 時宜を得た主題について総合的に整理し、新しい知見と見解を提示している
- (2) 有用性：内容が学術上、産業上、その他実用上何らかの意味で価値があること
 - ア 研究・技術の成果の応用性、有用性、発展性が大きい
 - イ 研究・技術の成果は実務または今後の実験、調査等にとり入れられる価値を持っている
 - ウ 問題の提起、試論またはそれに対する意見として有用である
 - エ 実験、実測のデータは研究、実用化等の参考として寄与する

オ 教育企画・人材育成上への取り組みに対する有用な成果を含んでいる

(3) 信頼度：内容に重大な誤りがなく、また読者から見て信用のおけるものであること

ア 重要な文献が落ちなく引用され、公平に評価されているか

イ 従来からの技術や研究成果との比較や評価がなされ、適正な結論が導かれているか

ウ 実験や解析、あるいは、計画や設計などの条件が明確に記述されているか

(4) 完成度：内容が読者に理解できるように簡潔、明瞭、かつ、平易に記述されていること

ア 全体の構成が適切であり、目的と結果が明確である

イ 既往の研究・技術との関連性は明確である

ウ 文章表現は適切であり、全体的に冗長になっていない

エ 図・表等の数が適切でありわかりやすく作られている

(5) 掲載の条件

掲載可否の判定は、査読結果に基づいて編集委員会で行う。修正意見があれば、編集委員会で検討のうえ、修正依頼を行う。修正意見に対して著者が十分な回答を行ったかどうかは、編集委員会で判断する。

5. 連絡先

査読、投稿原稿に関する問合せは下記の係まで照会すること

JUIDA 事務局 テクニカルジャーナル担当

住所：〒113-0033 東京都文京区本郷 5-33-10 いちご本郷ビル 4 F

TEL：03-5244-5285

E-mail：journal@uas-japan.org